

一般社団法人日本観光自動車道協会

第3期定時社員総会

議案書（審議事項）

令和3年5月18日（金）14:00

於：AP品川アネックス

(報告事項)

報告 ① 第3期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）事業報告の内容報告の件

別添資料：

第3期事業報告書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

報告 ② 第4期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）事業計画および収支予算の件

別添資料：

第4期事業計画及び収支予算（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

(審議事項)

第1号議案 第3期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書承認の件

定款第40条の規定に基づき、承認をお願いします。

別添資料：

第3期事業報告書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

第2号議案 理事1名選任の件

定款第25条に基づく理事の任期満了に伴い、定款第22条に基づき次のとおり重任理事6名、新任理事3名の選任をお願いします。

選任理事候補者9名

	氏名	重要な兼職の状況	区分
1	秋月 清二	(株)グランビスタホテル&リゾート 取締役	重任
2	小林 智彦	近畿日本鉄道(株) 鉄道本部 企画統括部 営業企画部長	新任
3	金田 利幸	奥比叡参詣自動車道(株) 代表取締役社長	重任
4	鳥居 正彦	三重県観光開発(株) 代表取締役社長	新任
5	仁賀 剛	比叡山自動車道(株) 代表取締役社長 (令和3年6月23日就任予定)	新任
6	櫻井 裕一	東京高速道路(株) 取締役道路施設部長	重任
7	堀内 光一郎	富士急行(株) 代表取締役社長	重任
8	谷口 篤	芦有ドライブウェイ(株) 代表取締役社長	重任
9	鬼頭 研二	伊豆箱根鉄道(株) 取締役上席執行役員 総合企画部長	重任

第3期事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日



一般社団法人日本観光自動車道協会

一般社団法人日本観光自動車道協会

はじめに

本資料は、一般社団法人日本観光自動車道協会（J T R A）の第3期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）事業計画に基づく事業実施結果についてご報告するものです。

J T R Aは、昭和31年に任意団体として発足以来60数年、自動車道の維持と発展のための意見交換の場としての活動に始まり、協会を取り巻く環境の変化に対応するため平成30年12月に一般社団法人として設立登記を行ないました。第2期平成31年4月より本格的に業務を開始以来、丸2年が経過し第4期目の業務を実施しているところです。

前期第3期は、全国的に新型コロナウイルスが猛威をふるうなかにあつて、理事会等で一堂に会することができませんでしたが、ニューノーマルへの対応として会議場側のご好意もあり、会議場と会員各社をリモートで結ぶ新しい会議形式を確立して、活動を継続することができました。

第3期事業計画に基づき、J T R A定款に掲げる自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、その目的に資する6項目の事業を実施し、各関連方面との交流ならびに広報活動により、あらたに賛助会員2社（令和2年8月21日現在）の賛同を得ることができ、賛助会員も12社となりました。

今期の大きな成果としては、まず協会のウェブサイトを各自動車道への観光を目的としたポータルサイトとなるよう、全面的にリニューアルし、アクセス数も確実に増えているところです。この活動は、環境省の国立公園等整備事業の補助金を受けて実施いたしました。

つぎに、(社)日本アセットマネジメント協会と締結した「観光自動車道アセット先進技術実験プロジェクト」の業務協定に基づき、実証実験プロジェクトの参加希望社向けに第1回目意向確認説明会を開催しました。第4期からの本格始動に向け準備しているところです。本プロジェクトでは、アセット分野だけでなくアミューズメント分野にも拡大しました。

また1月には、環境省と締結している「国立公園満喫プログラム」に基づく「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を令和7年12月31日まで協定を延長いたしました。

3月には、コロナ禍ニューノーマルの時代に非接触型イベントの実証実験として、全国開催の課題抽出等を目的に、関西圏7路線によるスタンプラリーイベントを企画・開催中です。

アセットマネジメント推進委員会では、第4期までに協会としての点検要領や管理基準の策定と、維持管理従事者の技術研修制度を確立するよう、賛助会員の協力を得ながら引き続き進めていくこととしました。

第4期も、しばらくはコロナ禍が続くと思われませんが、引き続き感染症予防対策に留意しながら、アセットマネジメント推進委員会はアセット維持管理の協会スタンダード策定を、ツーリズム委員会は観光自動車道の観光資源の有効活用を図るべく、活発に活動します。

第3期事業報告目次

【第3期事業報告書】	1
（1）法人の概況	1
1. 設立年月日	1
2. 定款に定める目的	1
3. 定款に定める事業内容	1
4. 所管官庁	1
5. 会員の状況	2
6. 主たる事業所	2
7. 役員等に関する事項	2
8. 職員に関する事項	2
（2）事業の状況	4
1. 社員総会および理事会	4
2. 分科会	7
3. 事業内容	8
3. 1 日本国内の観光事情についての調査・研究	7
3. 2 自動車道及び関連施設の長寿命化についての調査・研究	9
3. 3 前2号に関する行政諸官庁への意見具申	10
3. 4 自動車道に関する法令施行に当たっての行政諸官庁への協力	11
3. 5 自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝	11
3. 6 その他当法人の目的を達成するために必要な事業	12
4. その他事業（外部組織との交流他）	12
【第3期決算報告書】	13
貸借対照表	13
正味財産増減計算書	14
財務諸表に対する注記、附属証明書	15
監査報告書	16

【第3期事業報告書】

(1) 法人の概況

1. 設立年月日

昭和31年設立（旧有料道路協会）

平成30年12月3日（一般社団法人日本観光自動車道協会）

【設立総会】



【設立披露会】



2. 定款に定める目的

当法人は、自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、その目的に資するための事業を行う。

3. 定款に定める事業内容

- ① 日本国内の観光事情についての調査・研究
- ② 自動車道及び関連施設の長寿命化についての調査・研究
- ③ 前2号に関する行政諸官庁への意見具申
- ④ 自動車道に関する法令施行に当たっての行政諸官庁への協力
- ⑤ 自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝
- ⑥ その他当法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁

国土交通省自動車局

所管部署：総務課企画室

5. 会員の状況

会員種別	令和2年 3月31日 ①	入会 ②	退会 ③	差引 ②-③	令和3年 3月31日現在 ①+②-③
正会員	17	0	0	0	17
賛助会員	10	2	0	2	12
特別会員	0	0	0	0	0
計	17	2	0	2	29

6. 主たる事業所

〒104-0061 東京都中央区銀座5-6-12 bizcube7F

7. 役員等に関する事項

役職	氏名	現職
代表理事	中川 均	(株)白糸ハイランドウェイ 顧問
理事	秋月 清二	(株)グランビスタ ホテル&リゾート 取締役
	西崎 一	近畿日本鉄道(株) 取締役専務執行役員
	金田 利幸	奥比叡参詣自動車道(株) 代表取締役社長
	鳥居 正彦※	三重県観光開発(株) 代表取締役社長
	稲田 邦実	比叡山自動車道(株) 代表取締役社長
	櫻井 裕一	東京高速道路(株) 取締役道路施設部長
	堀内 光一郎	富士急行(株) 代表取締役社長
	松村 弘三	西山ドライブウェイ(株) 代表取締役社長
	谷口 篤	芦有ドライブウェイ(株) 代表取締役社長
	鬼頭 研二	伊豆箱根鉄道(株) 取締役上席執行役員
	石川 演洋	(株)プリンスホテル 一般自動車道 支配人
監事	井上 健三	(株)プリンスホテル 資産管理部 チーフマネジャー
	奥田 壮一	富士急行(株) 事業部 鉄道管理センター長
顧問	久保 成人	公益社団法人日本観光振興協会 顧問
	小林 潔司	一般社団法人日本アセットマネジメント協会 会長
	近藤 三津枝	有限会社パンコット代表取締役

※三重県観光開発(株)は、前任者宮脇栄治6月24日付け退任につき空席
令和3年3月31日現在

8. 職員に関する事項 (令和3年3月31日現在)

職員数1名 (非常勤)

財務経理業務委託先：時原会計株式会社

正会員 (17社)	
(株)札幌振興公社	富士急行(株)
(株)岩木スカイライン	三重県観光開発(株)
宮城交通(株)	奥比叡参詣自動車道(株)
(株)白糸ハイランドウェイ	比叡山自動車(株)
プリンスホテル(株)	西山ドライブウェイ(株)
東京高速道路(株)	近畿日本鉄道(株)
伊豆箱根鉄道(株)	新若草山自動車道(株)
芦ノ湖スカイライン(株)	芦有ドライブウェイ(株)
(株)グランビスタホテル&リゾート	
賛助会員 (12社)	
(株)熊谷組	アイセイ(株)
(株)ガイアート	三井住友カード(株)
(株)オリエンタルコンサルタンツ	(株)三菱総合研究所
パシフィックコンサルタンツ(株)	国際航業(株)
八千代エンジニアリング(株)	(株)赤城商会
(株)アイ・エス・エス	スマートカルチャーゲートウェイ(株)
特別会員 (0団体)	



(2) 事業の状況

1. 社員総会および理事会

1.1 社員総会

今期は定時社員総会を書面にて1回開催し、2議案について決議した。

第1回社員総会	日時	令和2年5月11日(金)
	場所	書面のみ
	決議事項	1. 第2期財務諸表承認の件 2. 理事3名選任の件
	報告事項	第2期事業報告の内容報告の件 第3期事業計画及び収支予算の件
	その他	

1.2 理事会

今期は定時理事会を4回、臨時を1回開催し、全ての議案を決議した。

第1回理事会	日時	令和2年4月16日(木)
	場所	書面のみ
	決議事項	1. 第2期事業報告、貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書承認の件 2. 第2期定時社員総会招集の件 3. ホームページ改修業務等のツーリズム委員会への権限移譲の件 4. 賛助会員1社入会の件
	報告事項	なし
	その他	

第2回理事会	日時	令和2年8月21日(金) 14:00~17:00
	場所	東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング A P品川アネックス Aルーム Zoom ミーティング併用
	決議事項	1. 協会ロゴマーク制定の件 2. 賛助会員1社入会の件
	報告事項	1. 国立公園多言語解説等整備事業補助金申請について 2. Go To トラベルキャンペーンへの参画について 3. ツーリズム委員会活動状況報告 4. アセットマネジメント推進委員会活動状況報告
	その他	1. 研修会 講師：スマートカルチャーゲートウェイ(株)高岡副社長「多言語同時通訳サービスについて」



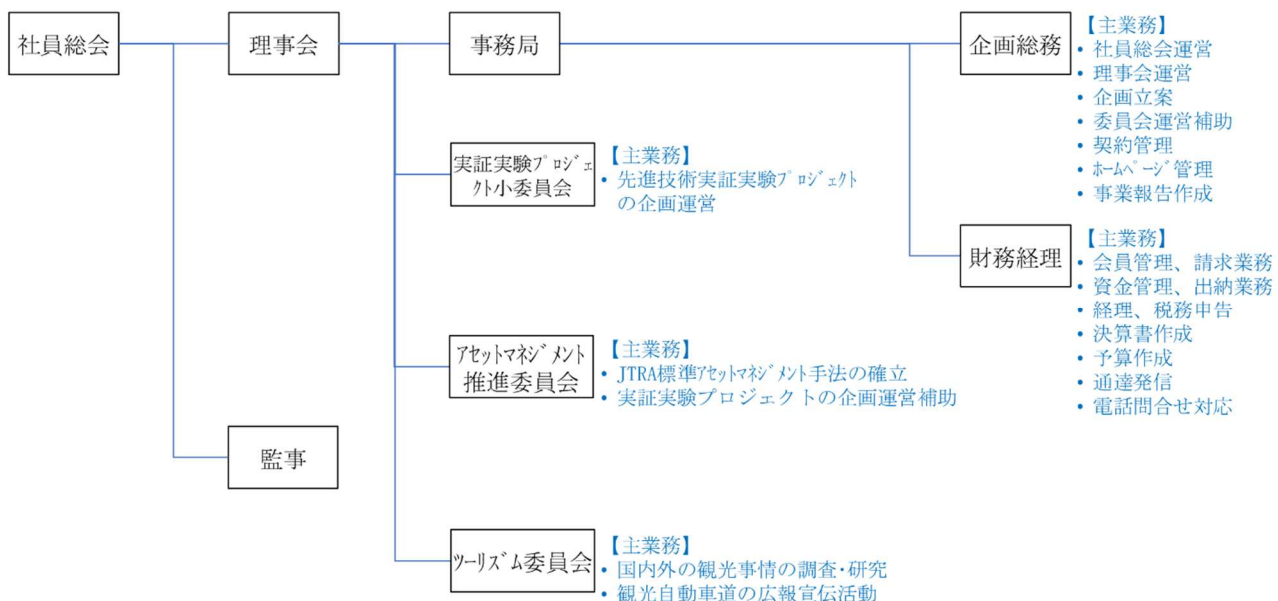
第3回理事会	日時	令和2年11月6日(金) 14:00~17:00
	場所	東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング A P品川アネックス Aルーム Zoom ミーティング併用
	決議事項	なし
	報告事項	1. リニューアルホームページのリリースについて 2. 近藤三津枝氏の顧問就任について 3. 実証実験プロジェクトの報告について 4. ツーリズム委員会活動状況について 5. アセットマネジメント推進委員会活動状況報告
	その他	国交省自動車局からの、道路区域内での自転車道整備に関する問い合わせ回答(未認可)



臨時理事会	日時	令和2年11月30日(月)
	場所	書面のみ
	決議事項	1. 当期予算組み替えの件 2. ツーリズム委員会でのスタンプラリー企画の業務執行の承認の件 3. 実証実験プロジェクト小委員会でのアミューズメント系実証実験の業務執行の承認の件
	報告事項	1. ホームページリニューアル費用の補助金交付確定について
	その他	

第4回理事会	日時	令和3年2月5日(金) 14:00~17:00
	場所	東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング A P品川アネックス Aルーム Zoom ミーティング併用
	決議事項	1. インフラ点検要領作成の件 2. 維持管理従事者研修の件 3. 第4期収支予算の件
	報告事項	1. 第3期予算執行状況と着地見込みについて 2. 第4期理事会・第3期社員総会の日程について 3. アセットマネジメント推進委員会活動状況報告と第4期活動計画について 4. ツーリズム委員会活動状況報告と第4期活動計画について
	その他	

【組織図】



2. 分科会

今期は、下記2委員会及び小委員会を組織し事業活動を展開した。

アセットマネジメント 推進委員会	役割	1. メンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の確実な実施及び効率化、外部的な信頼構築に向けて、一般社団法人日本観光自動車道協会（以下、JTRA という）の標準的な様式（テンプレート）等の構築を図り、JTRA のアセットマネジメント手法を確立する。 2. 「観光自動車道アセット先進技術実験プロジェクト」の企画運営を補助する。 3. 維持管理従事者のスキルアップを目指し、技術研修制度を第4期に確立する。		
	委員長	谷口篤	委員	11名
	活動	1. 定期点検1巡目の調査取りまとめを基に、法令と照らし合わせて協会テンプレートの作成 2. 第3回分科会（8月21日） 3. 第4回分科会（11月6日） 4. 第5回分科会（1月29日）リモート		
ツーリズム委員会	役割	1. 自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、日本国内外の観光事情について調査・研究する。 2. 自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝活動を行う。		
	委員長	西崎一（代理堀信一朗）	委員	12名
	活動	1. 第4回分科会（4月1日） 2. 協会ロゴマークのデザイン依頼、制定 3. ウェブサイト改修作業、10/23 リリース 4. GoTo トラベル地域共通クーポン取扱店登録 5. ドライブラリー2021 春 in 関西の企画・運営		
観光自動車道アセット 先進技術実験プロジェクト 実行小委員会	役割	「観光自動車道アセット先進技術実験プロジェクト」の企画運営 1. 実証実験の募集 2. 実証実験参加事業者の選定 3. 実証実験フィールド提供事業者の選定 4. 実証実験結果の取りまとめと公表		
	委員長	中川均	副委員長	金田利幸、近藤三津枝顧問
	委員	稲田邦実、戸谷有一（JAAM）、事務局：幸野茂		
	活動	1. アミューズメント分野の実証実験準備のための現地視察（10月18日、比叡山DW） 2. 参加希望社向けの第1回意向確認説明会を開催（11月5日）		

3. 事業内容

① 日本国内の観光事情についての調査・研究

環境省国立公園オフィシャルパートナー事務局および、公益社団法人日本観光振興協会（JTТА）との情報交換を通じて最新の観光動向を掴み協会の広報活動に繋げる活動を行った。

①-1 環境省国立公園オフィシャルパートナー事務局との情報交換

環境省のキャンペーン「国立公園満喫プログラム」のオフィシャルパートナー事務局主催の2020年12月21日の意見交換会に参画し、国立公園の保全と利用の推進に向け、新たな連携創出につなげるための意見交換をオンラインで参加企業65名、公園事務所職員38名と行った。

2021年1月1日付けで、パートナーシップの3年間の契約延長を締結した。締結にあたり、下記のあらたな取り組みを確約している。

- 1) ウェブサイトの英語以外の多言語化の推進と、各事業者の多言語化も推進する
- 2) ウェブサイトにオフィシャルパートナーロゴマークと国立公園サイトQRコードを掲出し、相互リンクする
- 3) 国立公園（国定公園）を観光自動車道でつなぐスタンプラリーイベント等の誘客キャンペーンを企画・実施する

1月25日付けで、2020年の活動報告ならびにその効果、2021年以降の取り組み予定について環境省に報告済みである。

環境省が発行する国立公園オフィシャルパートナーシッププログラムの冊子に、当協会の取り組みが紹介された。



①-2 日本観光振興協会との情報交換

公益社団法人日本観光振興協会（JTТА）からのメールマガジンを会員各社へ配信し情報共有した。

② 自動車道及び関連施設の長寿命化についての調査・研究

主にアセットマネジメント推進委員会の活動として、「JTRA インフラ点検要領（案）」の策定と、実証実験プロジェクトの企画・運営、維持管理従事者のスキルアップを目指した研修制度の導入検討を行った。

②-1 協会独自のインフラ点検要領の策定

今期は、定期点検1巡目の調査取りまとめを基に、法令と照らし合わせて「JTRA インフラ点検要領（案）」の策定を行った。これを元に、来期は各社それぞれに異なる事情を考慮し、道路法に準拠しつつ、日常点検を充実させる、新技術活用でスクリーニング方法を導入する、あるいは第三者被害の有無や経年の健全度に応じて、点検頻度・目視要件を緩和できないかの検討を行い、来期を目標に「JTRA インフラ点検要領」をリリースする。

②-2 実証実験プロジェクトの企画・運営

（一社）日本アセットマネジメント協会（JAAM）との業務協定を基に、JAAMと共同で実証実験プロジェクトの「先進技術募集要領（案）」を策定し、参加希望企業に対して意向確認説明会を実施した。

新たな試みとして、アミューズメント系実証実験の可能性を探るため、比叡山ドライブウェイでのドライビングシアターやプロジェクションマッピングの検討を行った。

1) アミューズメント系実証実験の検討会

日時：2020年10月18日（日）13時～17時

場所：比叡山ドライブウェイガーデンミュージアム比叡駐車場

参加者：小委員会委員・事務局

アミューズメント系実証実験の検討会

2) 実証実験プロジェクト意向確認説明会

日時：2020年11月5日（木）14時～15時半

場所：（一社）日本アセットマネジメント協会研修室

参加者：小委員会委員・事務局、参加希望企業6社

実証実験プロジェクト意向確認説明会



③ 前2号に関する行政諸官庁への意見具申

【GoTo トラベルへの参画】

GoTo トラベルへの自動車道事業者の参画方法について自動車局総務課企画室と協議。下記回答を会員各位に通達。

- ①単体ではなく、アクティビティ等との組合せパッケージ商品が対象
- ②地域共通クーポン取扱店登録は可能

【自転車道の整備】

一部路線において、観光振興やインバウンド対策として国交省の進めるサイクルツーリズムに関連する自転車道や休憩施設の整備に関する問い合わせがあり、自転車道整備の認可について弾力的に対処可能かを自動車局総務課企画室と協議。下記回答を会員各位に通達。

- ①現行法では認可は難しい
- ②一般自動車道区域外での整備は問題ない

【民法改正に伴う供用約款の対応】

民法改正に伴い、各社の供用約款が新規規定の対象となる「定型約款」に該当するため、対応を自動車局総務課企画室と協議。下記回答を会員各位に通達。

- ①約款を事後的に変更する際の要件を追記する必要について
- ②道路運送事業、鉄道事業と調整し回答する
- ③「公表」でみなし合意は足りる旨の特則がある

道路運送法（民法の特例）第八十七条 次に掲げる取引に関して民法（明治二十九年法律第八十九号）第五百四十八条の二第一項の規定を適用する場合においては、同項第二号中「表示していた」とあるのは、「表示し、又は公表していた」とする。

- 一 一般乗合旅客自動車運送事業若しくは一般乗用旅客自動車運送事業による旅客の運送又は自家用有償旅客運送に係る取引
- 二 一般自動車道の通行に係る取引

【維持管理従事者の教育制度】

インフラ老朽化対策に関する目標立てに関連して、自動車道の維持管理に関する知見を持った人員の人数を向上させる方法を自動車局総務課企画室と協議。下記回答を会員各位に通達。

- ①維持管理に関する教育制度や資格は、現状では存在しない
- ②来期の教育制度の確立に向けて、準備する

④ 自動車道に関する法令施行に当たっての行政諸官庁への協力

④-1 「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」の策定

令和2年5月4日付け「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の変更により、各事業団体ごとにガイドラインを作成するという要請に応じ、「JTRA 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」第1版を発行。最新版は11月16日発行の第2版である。

④-2 自動車道事業者への調査依頼

今期は、下記1件の調査依頼があり、事務局で取り纏めて報告している。

1) PCB含有塗膜調査の進捗状況確認依頼

⑤ 自動車道の総合的發展に資するための広報宣伝

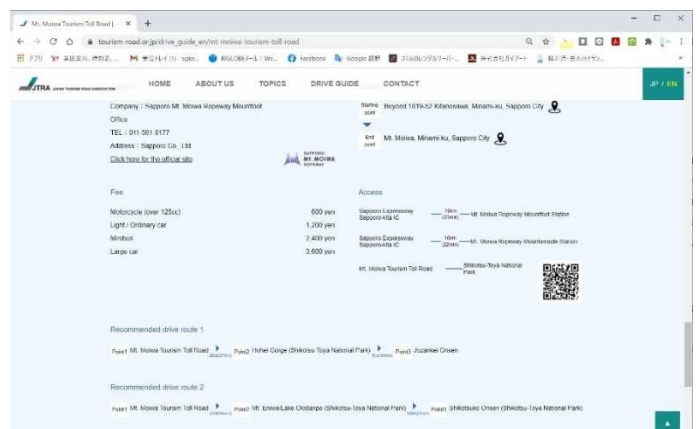
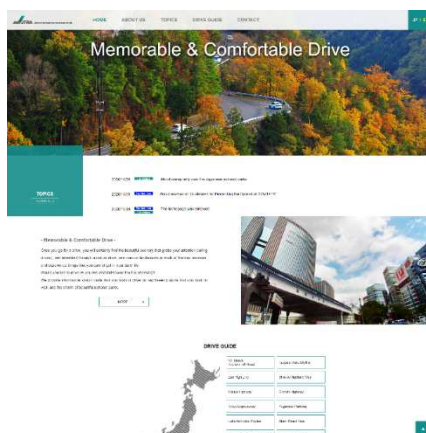
今期は主にツーリズム委員会の活動として、協会ウェブサイトのリニューアルおよび多言語化対応を実施した。協会ウェブサイトを各自動車道への観光を目的としたポータルサイトとなるよう、全面的にリニューアルし、アクセス数も昨年比36.8%増と確実に増えている。

この活動は、国立公園との結びつきを強化することにより、環境省の国立公園等整備事業の補助金を受けることができた。

ウェブサイトアクセス数（ユーザー数、Visits）比較表

	ユーザー		備考
	2020年	2021年	
11月	628	749	リニューアル翌月
12月	706	909	
1月	820	1,019	
2月	1,039	1,410	
3月	907	2,404	
	4,100	6,491	36.8%の増加

ホームページのリニューアル



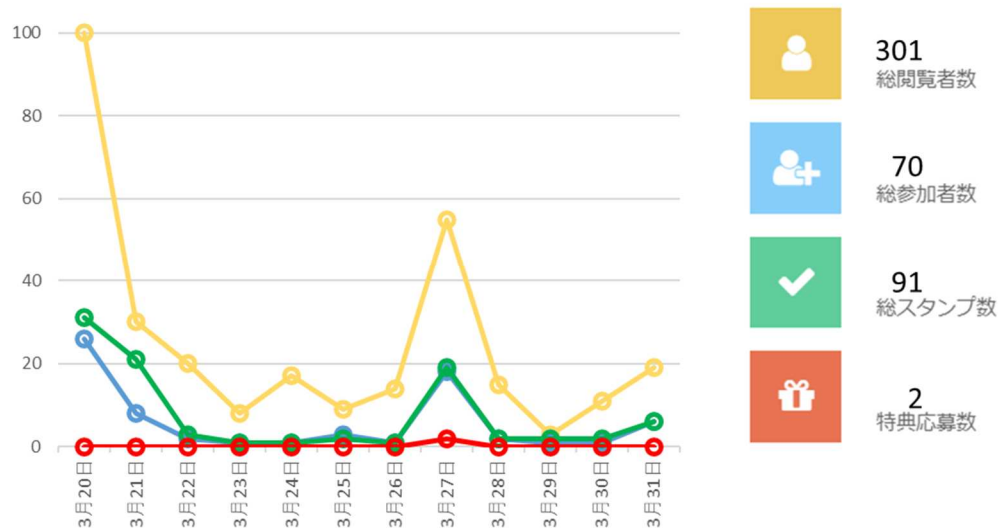
⑥ その他当法人の目的を達成するために必要な事業

全国の有料道路ネットワークと国立公園を含む周辺観光施設との結びつきを強化・アピールすることで、新たな観光需要を創出して集客を向上させる目的と、コロナ禍で大きく落ち込んだ観光需要を促すための試行として、コロナ禍にあっても非接触型で安心して楽しめるイベント「第1回ドライブラリー2021春 in 関西」を企画。3月20日より運営を開始している。

第5期（令和4年度）以降の全国展開に向けて、SNSを中心とした複数のプロモーション方法を試し、その効果を検証する。



3月31日現在参加状況



	301 総閲覧者数
	70 総参加者数
	91 総スタンプ数
	2 特典応募数

4. その他事業（外部組織との交流他）

今期は、下記団体と会員登録や協定に基づき交流をしている。

- ①環境省国立公園オフィシャルパートナーシップ 登録企業
- ②一般社団法人日本アセットマネジメント協会 法人正会員
- ③公益社団法人日本観光振興協会 法人会員

第4期事業計画書

令和3年4月1日～令和4年3月31日



一般社団法人日本観光自動車道協会

報告事項 第4期事業計画および収支予算目次

【第4期事業計画】	1
（1）事業の状況	1
1. 社員総会および理事会	1
2. 分科会	3
3. 事業内容	4
3. 1 日本国内の観光事情についての調査・研究	4
3. 2 自動車道及び関連施設の長寿命化についての調査・研究	4
3. 3 前2号に関する行政諸官庁への意見具申	4
3. 4 自動車道に関する法令施行に当たっての行政諸官庁への協力	4
3. 5 自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝	4
3. 6 その他当法人の目的を達成するために必要な事業	4
4. その他事業（外部組織との交流他）	4
【第4期収支予算】	5
第4期収支予算書	5

【第4期事業計画】

(1) 事業の状況

1. 社員総会および理事会

1.1 総会

今期は定期社員総会を1回開催する予定である。

第1回社員総会	日時	令和3年6月18日(金) 14:00~18:00
	場所	東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング AP 品川アネックス I ルーム Zoom ミーティング併用
	決議事項	1. 第3期事業報告および決算報告 2. 理事および幹事選任の件 3. その他定款12条に示す案件
	報告事項	1. 第3期事業報告の内容報告 2. 第4期事業計画および収支予算 3. 適宜
	その他	1. 研修会・意見交換会：阿部企画室長ご挨拶 2. 懇親会

1.2 理事会

今期は定期理事会を4回開催する予定である。

第1回理事会	日時	令和3年5月14日(金) 14:00~17:00
	場所	東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング AP 品川アネックス A+B ルーム Zoom ミーティング併用
	決議事項	1. 第3期事業報告および決算報告 2. 定時社員総会の招集通知 理事及び監事選任の件
	報告事項	1. 臨時理事会書面決議の結果
	その他	1. 研修会・意見交換会：平賀推進官ディスカッション

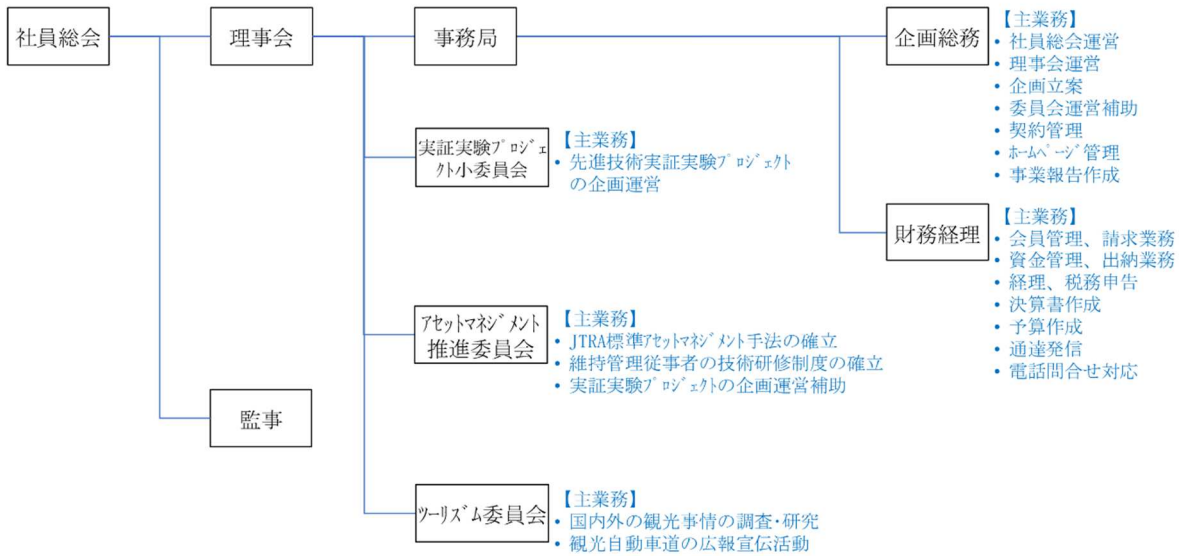
第2回理事会	日時	令和3年8月20日(金) 14:00~17:00
	場所	東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング AP 品川アネックス A+B ルーム Zoom ミーティング併用
	決議事項	1. 適宜案件
	報告事項	1. 適宜
	その他	1. 研修会：環境省自然公園課との意見交換(予定)

第3回理事会	日時	令和3年11月5日(金) 14:00~17:00
	場所	東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング AP 品川アネックス A+B ルーム Zoom ミーティング併用
	決議事項	1. 適宜案件
	報告事項	1. 適宜
	その他	1. 研修会：東工大岩波教授、インフラ点検の動向(予定)

第4回理事会	日時	令和4年2月4日(金) 14:00~17:00
	場所	東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング AP 品川アネックス A+Bルーム Zoom ミーティング併用
	決議事項	1. 第5期収支予算の件 2. 適宜案件
	報告事項	1. 第4期予算執行状況と着地見込みについて 2. 適宜
	その他	1. 研修会：未定

【組織図】

【組織図】



2. 分科会

今期は、下記2委員会および小委員会を組織し事業活動を展開する。

アセットマネジメント 推進委員会	役割	1. メンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の確実な実施及び効率化、外部的な信頼構築に向けて、一般社団法人日本観光自動車道協会（以下、JTRA という）の標準的な様式（テンプレート）等の構築を図り、JTRA のアセットマネジメント手法を確立する。 2. 「観光自動車道アセット先進技術実験プロジェクト」の企画運営を補助する。 3. 維持管理従事者のスキルアップを目指し、技術研修制度を第4期に確立する。		
	委員長	谷口篤	委員	11名
	活動	1. 協会標準要領類の策定 2. 実証実験プロジェクトの準備・募集・運営・評価の支援 3. 維持管理従事者の技術研修実施		
ツーリズム委員会	役割	1. 自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、日本国内外の観光事情について調査・研究する。 2. 自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝活動を行う。		
	委員長	西崎一（代理堀信一郎）	委員	12名
	活動	1. 協会ウェブサイトの更新・多言語化、運営 2. 観光関連団体との情報交換 3. イベントの企画・運営		
観光自動車道アセット 先進技術実験プロジェ クト実行小委員会	役割	「観光自動車道アセット先進技術実験プロジェクト」の企画運営 1. 実証実験の募集 2. 実証実験参加事業者の選定 3. 実証実験フィールド提供事業者の選定 4. 実証実験結果の取りまとめと公表		
	委員長	中川均	副委員長	金田利幸、近藤三津枝顧問
	委員	稲田邦実、戸谷有一(JAAM)、事務局：幸野茂		
	活動	1. 実証実験プロジェクトの企画・運営		

3. 事業内容

① 日本国内の観光事情についての調査・研究

環境省国立公園オフィシャルパートナー事務局および、公益社団法人日本観光振興協会（JTTA）との情報交換を通じて最新の観光動向を掴み協会の広報活動に繋げる活動を行う。

- ①-1 環境省国立公園オフィシャルパートナー事務局との情報交換
- ①-2 日本観光振興協会との情報交換

② 自動車道及び関連施設の長寿命化についての調査・研究

アセットマネジメント推進委員会が中心となり、一般社団法人日本アセットマネジメント協会との情報交換を通じて最新のアセットマネジメント動向を掴み、維持管理の効率化・高度化及び自動車道及び関連施設の長寿命化により品質と信頼性、透明性を向上することを目的に、協会標準のマネジメント手法を確立するための調査・研究ならびに活動を行う。

- ②-1 協会スタンダードのインフラ点検要領の策定
- ②-2 実証実験プロジェクトの企画・運営の補助
- ②-3 維持管理従事者の技術研修制度の確立

③ 前2号に関する行政諸官庁への意見具申

自動車道事業運営上の課題に関する会員の意見を取りまとめ、関係官庁、団体機関に意見具申し、課題解決を図る。

④ 自動車道に関する法令施行に当たっての行政諸官庁への協力

各種報告事項の協会内取りまとめを行い、行政諸官庁への協力を行う。

- ④-1 自動車道便覧の発刊
- ④-2 自動車道事業者への各種調査依頼の対応

⑤ 自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝

ツーリズム委員会が中心となり、ホームページのリニューアルおよび多言語化の改修を行い、ホームページの運用を行う。

⑥ その他当法人の目的を達成するために必要な事業

適時、協会として取り組むべき事案についてリサーチし取り組む。